



公益社団法人応用物理学会

先進パワー半導体分科会、応用電子物性分科会

特別一般公開シンポジウム

「社会を変えるワイドギャップ半導体の現状と将来」

日時 令和7年9月7日（日） 13時30分～18時 **会場** 名城大学 天白キャンパス 共通講義棟北 N101（名城ホール）

ノーベル賞受賞の天野浩先生をはじめ、応用物理学会会長・元会長など、第一線で活躍する著名な研究者による豪華講演陣が集結！パワー半導体や発光デバイスなど、ワイドギャップ半導体の最新動向と未来について、やさしく、わかりやすく紹介します。専門の方だけでなく、異分野の研究者や一般の皆さまのご参加也大歓迎です！

講演者・タイトル

天野 浩（名大）

サステナブルエレクトロニクスと
窒化物半導体の貢献

加藤 正史（名工大）

SiC半導体信頼性確保のための
欠陥エンジニアリング

金村 高司（ミライズ）

車載用SiCパワー半導体の開発動向（仮）

木本 恒暢（京大）

脱炭素社会実現に貢献する
SiC半導体の現在と将来

竹内 哲也（名城大）

AlGaN巨大分極電荷による
新規電気伝導制御

波多野 睦子（東京科学大）

ダイヤモンド量子センサの可能性

東脇 正高（大阪公立大）

酸化ガリウムデバイスの現状と可能性

向井 孝志（日亜化学）

窒化物半導体系光デバイスの最新動向